



## 4 「貯める・増やす」～ 資産形成



### クイズ



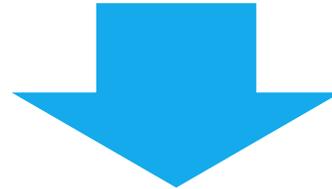
確実に儲かるという投資を紹介され、リスクがないなら安全だと思って始めた。○か×か。





### 4-1. どうして資産形成が必要なのか？

- まずは家計管理をしっかり行い、貯蓄しましょう
- ただ、超低金利のもとでは、預貯金ではお金は増えません
- 物価上昇（インフレ）すると、貯蓄の価値が目減りする可能性があります
- ライフプランの選択肢が多様化し、一人一人が自由に生きる時代です



**目的別に金融商品を活用しながら、皆さん一人一人が自分に合った資産形成を行い、将来に向けて準備していきましょう。**

**語学やPCスキルを学ぶ、資格を取得するなど自己投資を行い、稼ぐ力を高めることも大切です。**



## 4-2. 利子と金利

### (1) 利子（利息）

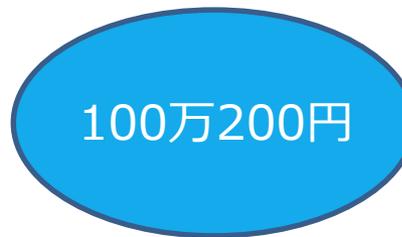
借りたり貸したりしたお金に、一定の割合で支払われる対価（金額）



### (2) 金利（利率）

貸し付けたり借りたりした資金に対する対価の利率（%）

例) 金利0.02%で100万円を銀行に預ける



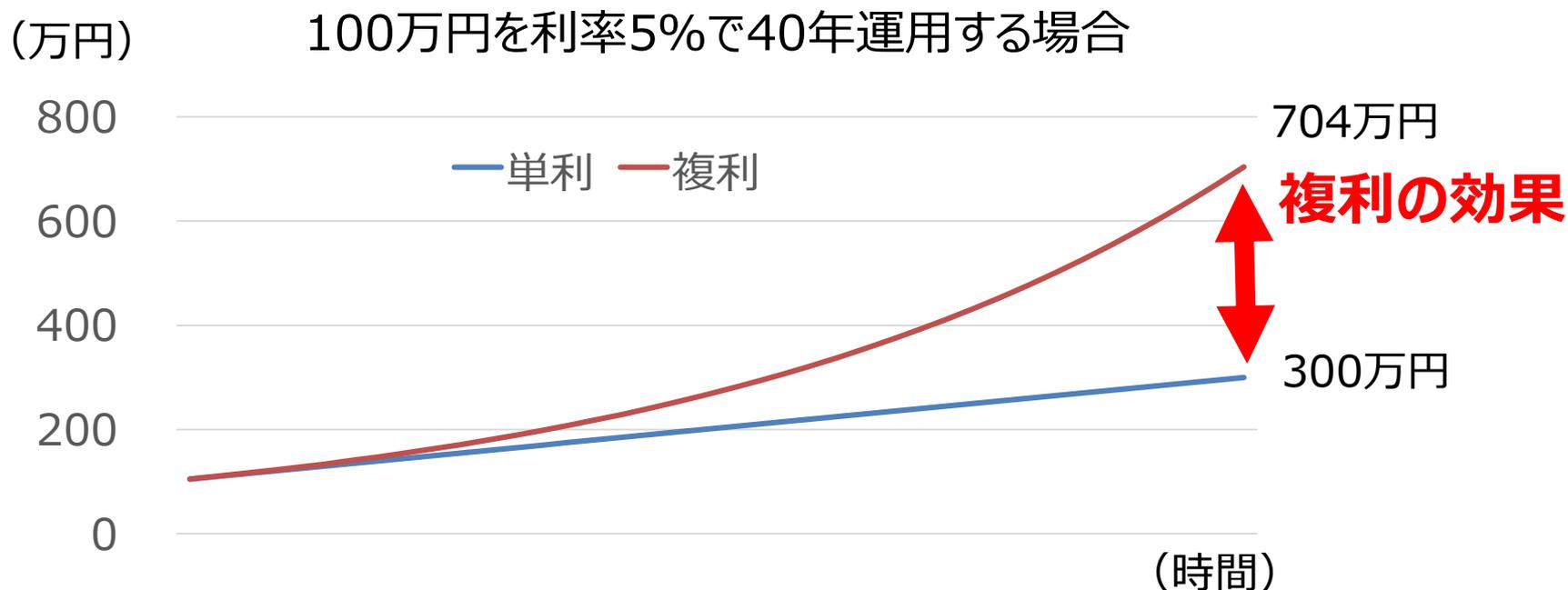
200円が  
利子

お金を預ける時は、金利が高い・低いどちらが良いですか？  
お金を借りる時は、金利が高い・低いどちらが良いですか？



## 4-3. 単利と複利

- 最初の元本のみに利子がつくことを「**単利**」と呼びます
- 元本のみならず、利子も運用すれば、その利子にも利子がつくことを「**複利**」と言います

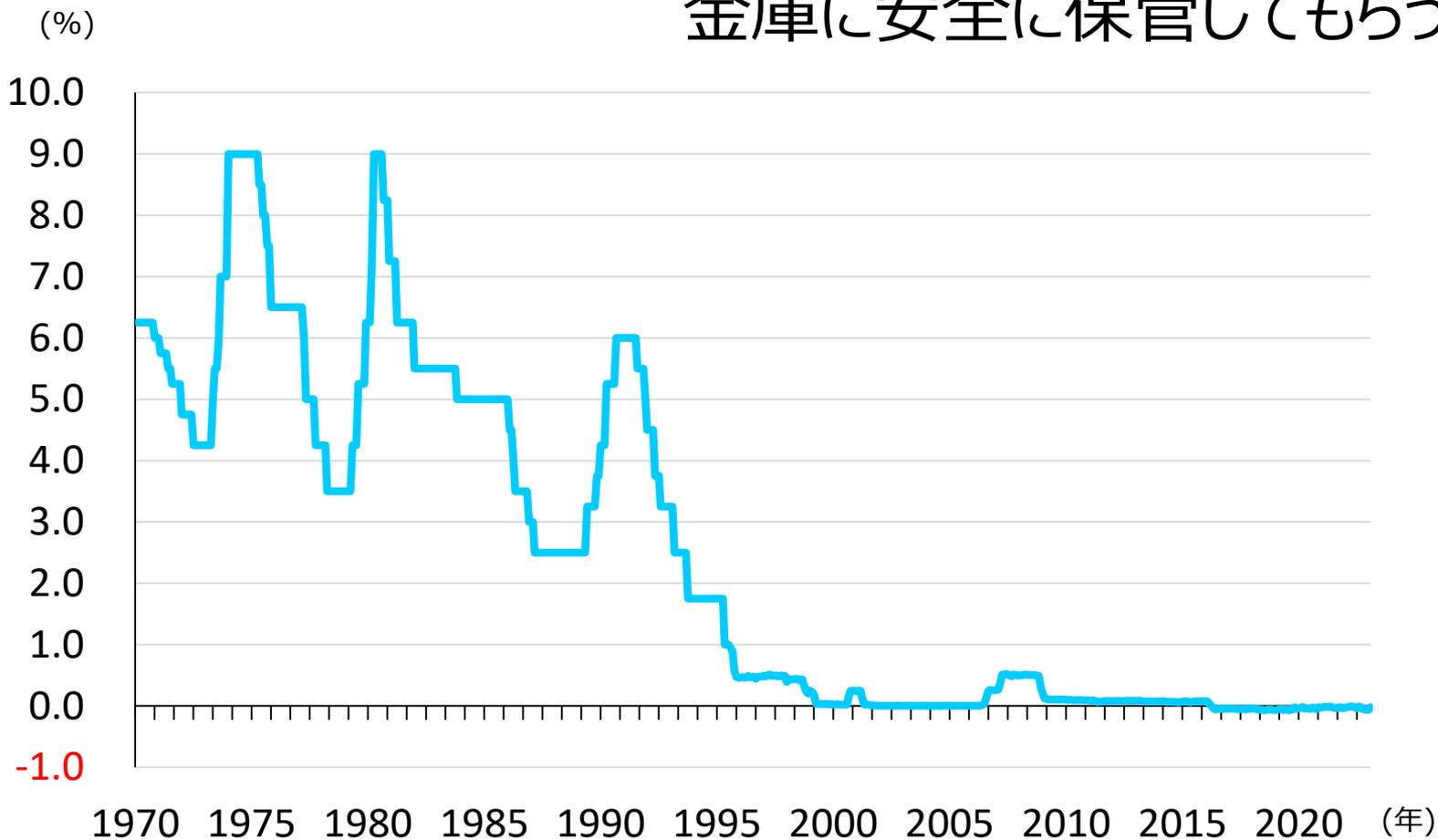


**複利の効果は、金利が高いほど、期間が長いほど、大きくなります。**



## 4-4. 金利の推移

銀行に預ける = 現在の金利は、ほぼゼロ  
金庫に安全に保管してもらう



(出所) 日本銀行

(注) 1995年6月までは公定歩合（基準貸付利率）、それ以降は無担保コールO/N物レートの月中平均金利



## 4-5. 金融商品の3つの基準

どのくらい利益  
が期待できるか

収益性

3つの基準すべてを完全  
に満たす金融商品はない

安全性

流動性

元本が減らないかどうか

お金を引き出しやすいかどうか

**元本**とは、金融商品の購入・投資に  
充てた資金の額。いわゆる元手です。



## 4-6. 主な金融商品の特徴①

### 預金 貯金

- ・ 銀行等にお金を預けること
- ・ 給与の受け取り、公共料金の引き落としなどでも利用
- ・ お金の引き出しが簡単（銀行やコンビニのATMなど）
- ・ 元本保証あり（各金融機関で元本1,000万円までと

その利息)

**元本保証**とは、金融商品の購入・投資に充てた資金が減ることはないということ。



⇒ 預金・貯金は、一般的に、**収益性は低い（△）**が、**安全性・流動性は最も高い（◎）**。



## 4-7. 主な金融商品の特徴②

### 債券

- ・ 国や会社にお金を貸すこと
- ・ 定期的に利子が支払われ、満期がくれば額面金額を受け取ることができる
- ・ 国が発行するものを「国債」  
会社が発行するものを「社債」という
- ・ 発行した会社等が倒産すると、返済されない可能性がある

**(元本は保証されていない)**



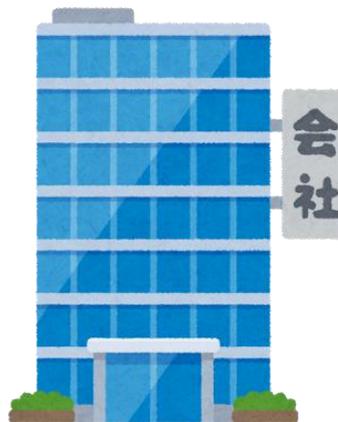
⇒ 債券の**安全性は、国債は高く（◎）、社債は発行企業次第**。  
一般的に、**流動性は低く（△）、収益性は、預金より高く、株式より低い（○）**。



## 4-8. 主な金融商品の特徴②

### 株式

- ・ 購入者（株主）は会社の一部を所有することになり、会社はお金を返す必要はない
- ・ 会社が上げた利益に応じて配当などを受け取ることができる
- ・ 会社の業績や、国内・海外の景気などによって、株式の価値（株価）も変動する  
**（元本は保証されていない）**



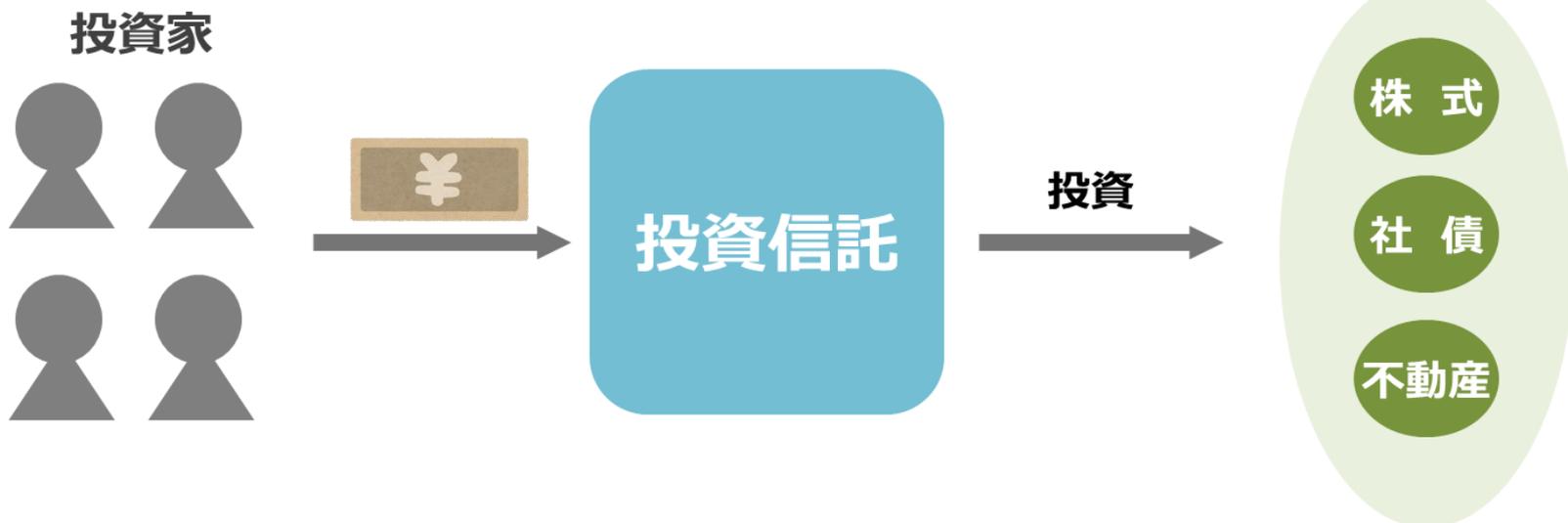
⇒ 株式は、**安全性は低い（△）**が、**高い収益性（◎）**が期待できる。  
**流動性は高い（○）**。



## 4-9. 主な金融商品の特徴③

### 投資 信託

- ・ 多くの人から集めたお金を、1つにまとめて大きな資金にし、**株式や債券**などに**投資する仕組み**
- ・ ファンドともいう
- ・ 株価の変動などによって、価格が日々変動する  
**(元本は保証されていない)**
- ・ 少ない金額から購入できたり、分散投資もしやすい



⇒ 投資信託の**収益性、安全性は、投資対象次第**。**流動性は高い (○)**。



## 4-10. 主な金融商品の特徴まとめ

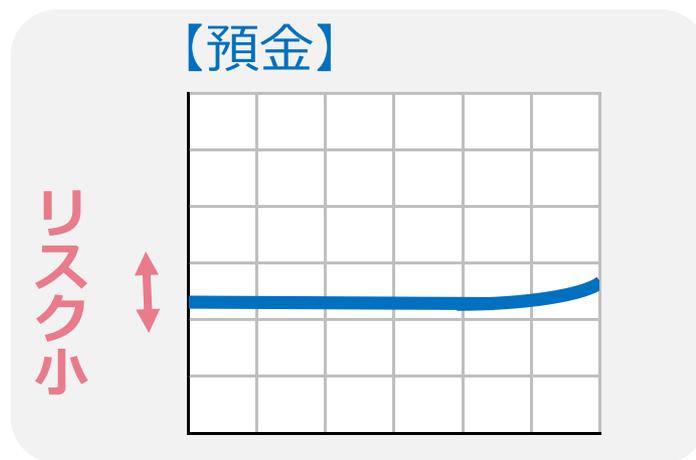
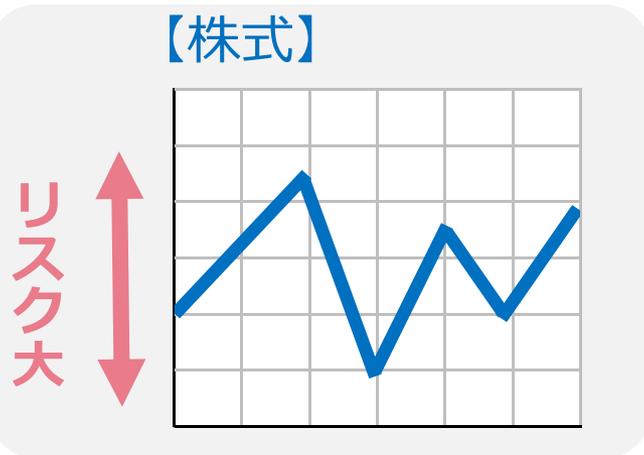
	安全性	収益性	流動性
預金・貯金	◎	△	◎
株式	△	◎	○
債券	○	○	△
投資信託	△~○	○~◎	○

⇒ 3つとも◎の金融商品はありません。目的に応じて使い分けましょう。

### 4-11. リスクとは？

- お金を運用した結果、得られる利益や損失のことを「リターン」といいます。
- このようなリターンの不確実性の大きさ、振れ幅の大きさを「リスク」といいます。

リターンの  
振れ幅

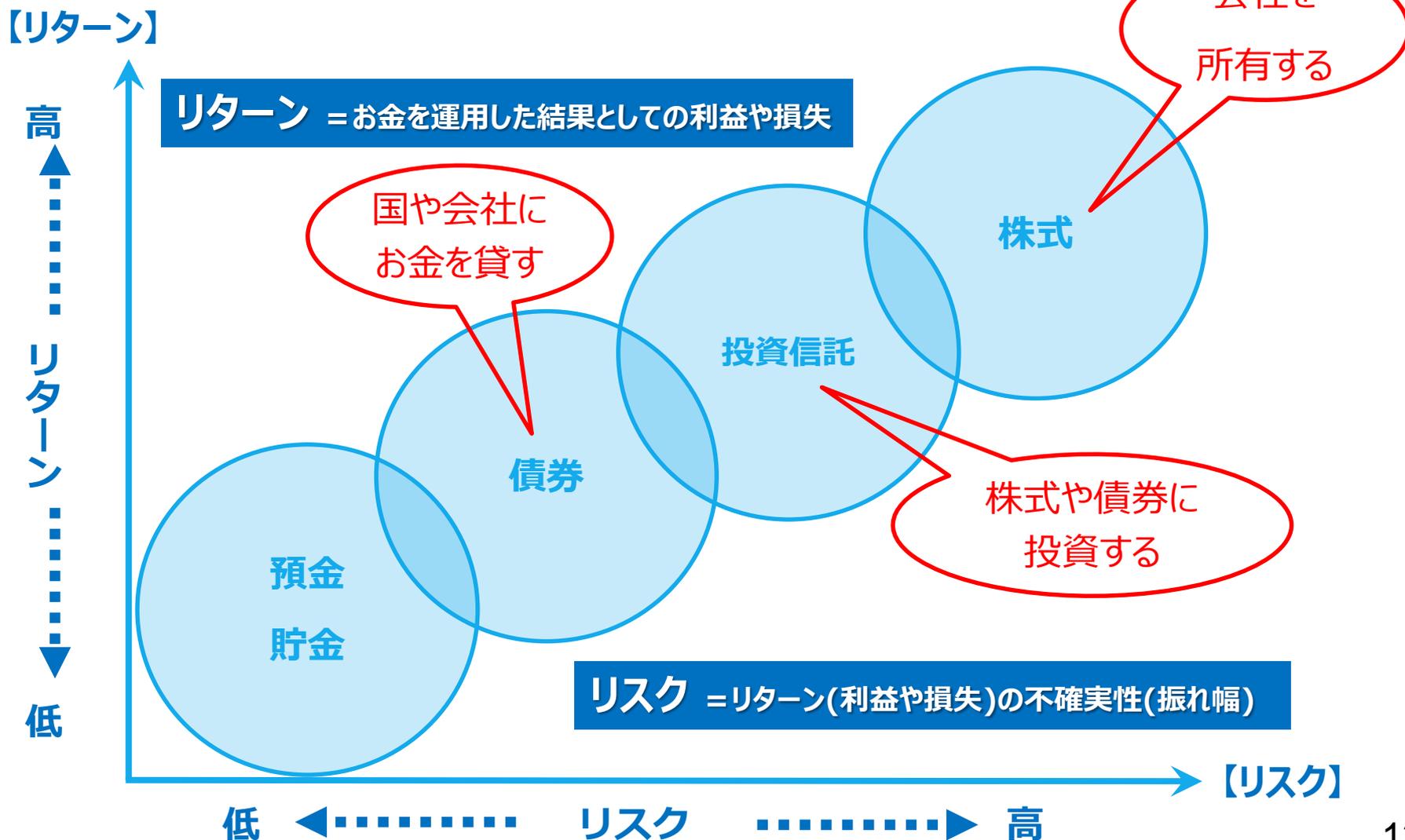


金融商品は自分の意思で選ぶため、  
利益・損失は自己責任です。（自己責任原則）

# 4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

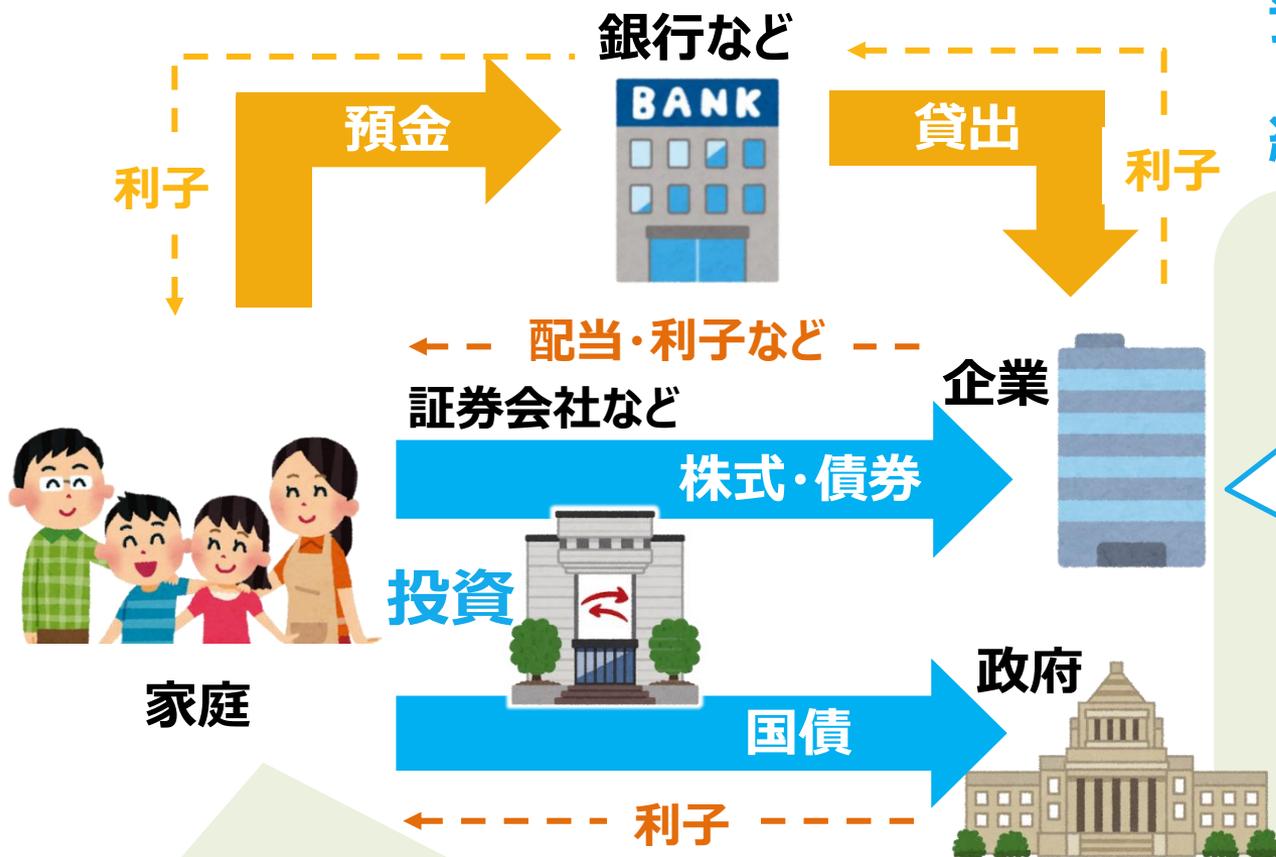
## 4-12. リスク・リターンの関係

(注) あくまでもイメージです。厳密な表現ではありませんので、ご注意ください。





## 4-13. 預金と投資



預金や投資したお金は  
経済活動に使われる

**設備投資**  
商品・サービスの提供  
株主への配当  
従業員への給与

**公共サービス**

私たちの生活が  
より豊かで便利に

# 4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

## 4-14. 投資を通じて社会課題の解決に貢献

### SDGsとは

「持続可能な世界を実現する」ことを目指して、国連サミットで採択された国際目標。貧困や飢餓、保健、教育、ジェンダー、環境、生産、雇用など、幅広く17のゴール・169のターゲットから構成される。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



私たち

商品の購入



投資



SDGsに取り組む企業

⇒ 消費（商品の購入）や投資（債券・株式の購入）等による資金提供を通じて、社会をより良くすることに貢献できる

## 4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

### (体験) 資産形成シミュレーターを使ってみよう！ (1)

条件入力

資産シミュレーター 積立シミュレーター

投資金額 10万円 1,000万円 100万円

シナリオ1 シナリオ2 シナリオ3

利率 (年利)

0.001% 15% 0.001% 15% 0.001% 15%

0.001% 0.7% 7.2%

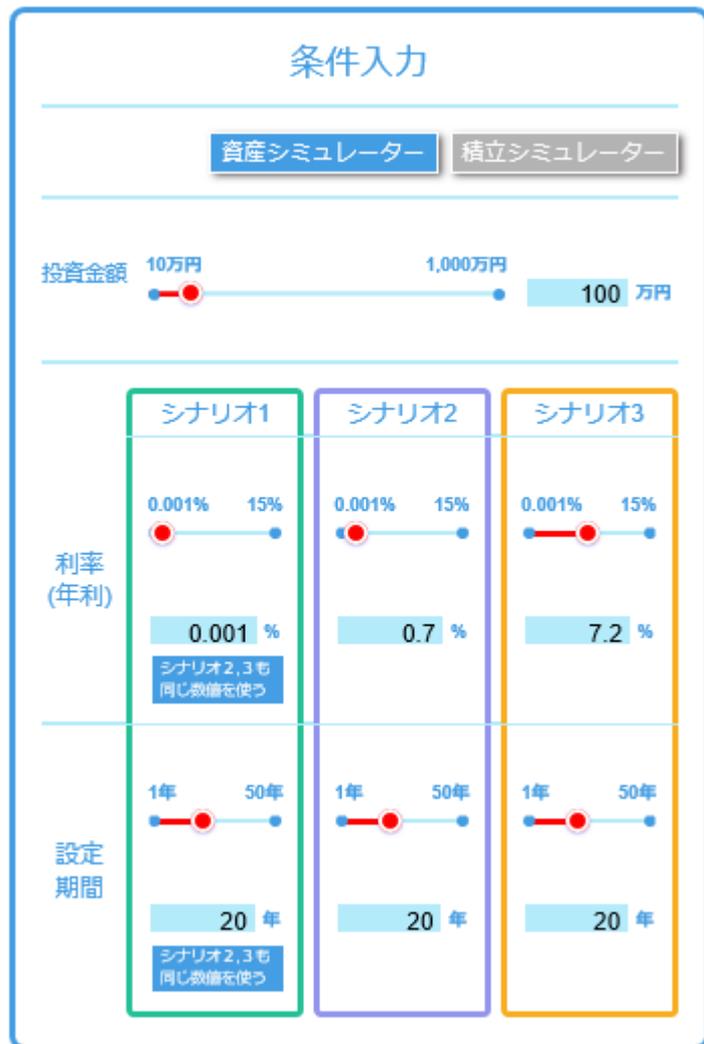
シナリオ2,3も同じ数値を使う

設定期間

1年 50年 1年 50年 1年 50年

20年 20年 20年

シナリオ2,3も同じ数値を使う

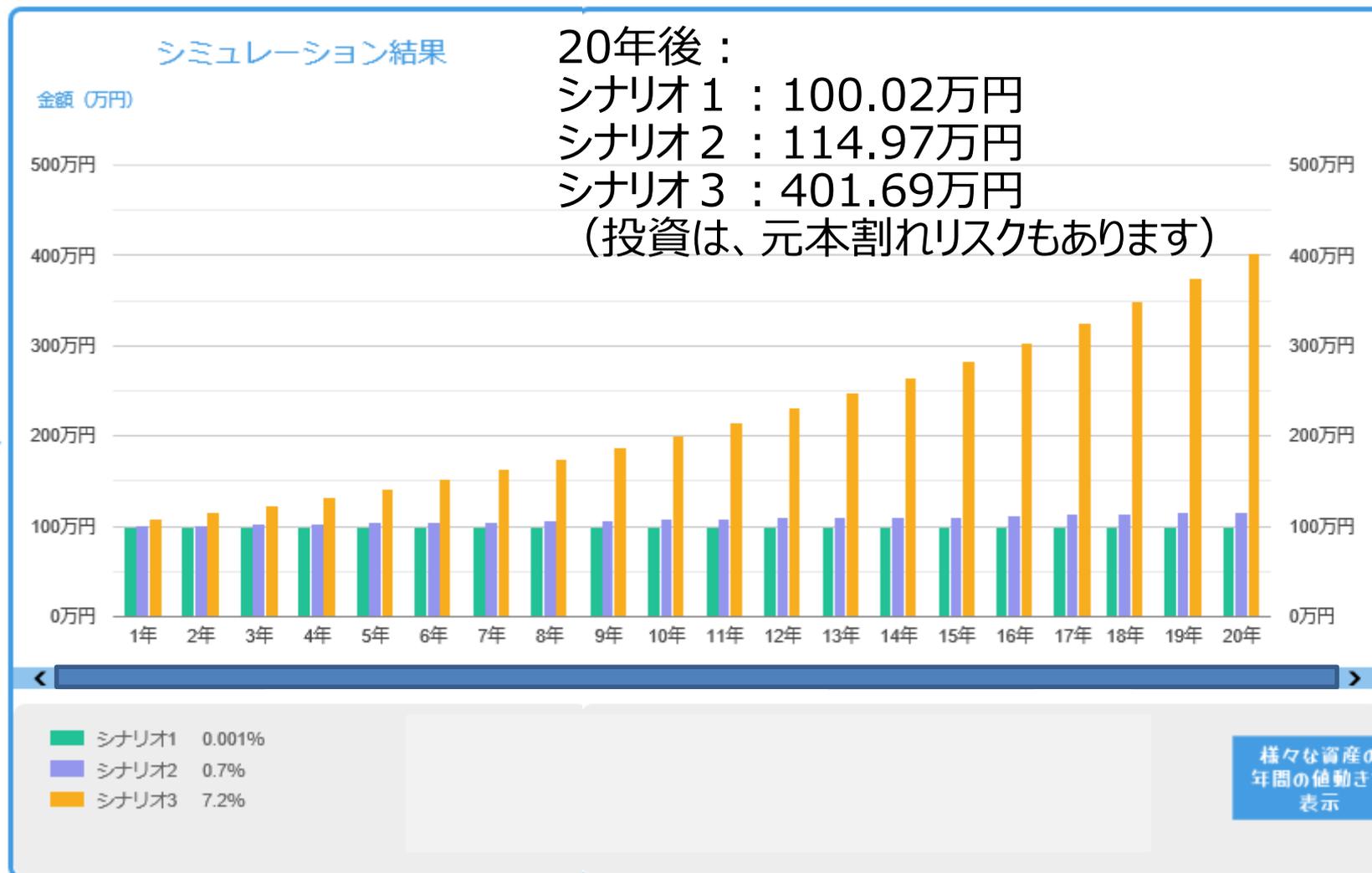


- 資産：積立：資産シミュレーターを選択
- 投資金額：100万円になっていますが、変更できます
- 利率：シナリオ1～3まで1年でどのくらい増えるか利率を入れます。シナリオ1は預金金利、シナリオ2は国内債券の平均利回り、シナリオ3は海外株式の平均利回りです
- 設定期間：長期投資の目標である20年にセットしています



## 4.「貯める・増やす」～資産形成

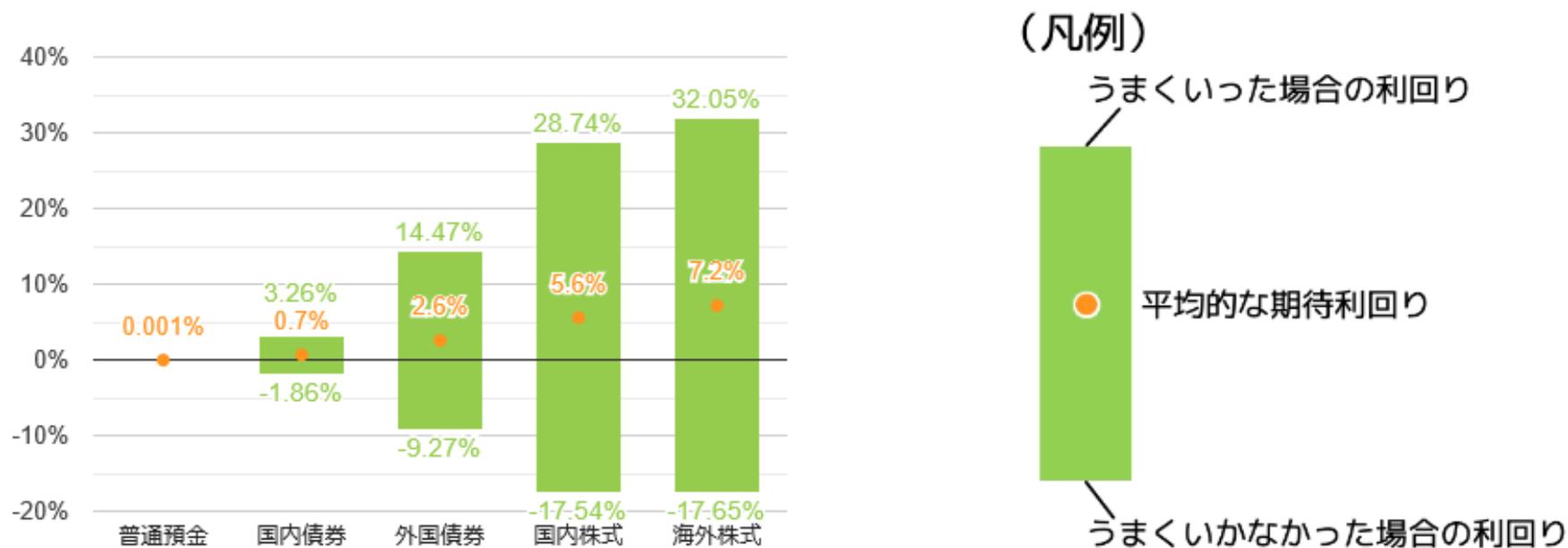
### (体験) 資産形成シミュレーターを使ってみよう！ (2)



## 4. 「貯める・増やす」 ～資産形成

### (体験) 資産形成シミュレーターを使ってみよう！ (3)

様々な資産の年間の値動きの想定



出所：年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の基本ポートフォリオの考え方を基に金融庁が算定



### まとめ（4章のポイント）

- (1) **目的別に金融商品を活用**しながら、自分に合った資産形成を行い、将来に向けて準備しましょう。

---

- (2) お金を預けると利子をもらえ、お金を借りると利子を払わなくてはなりません。**利子は金額、利率は%**で示されます。

---

- (3) 元本のみにも利子がつくことを「**単利**」、利子も運用すれば利子にも利子がつくことを「**複利**」といいます。

---

- (4) 金融商品の3つの基準「**収益性**」「**安全性**」「**流動性**」を全て満たす商品はありません。目的に応じて使い分けましょう。

---

- (5) 「**預貯金**」「**債券**」「**株式**」「**投資信託**」の特徴を知りましょう。

---

- (6) 投資とは自分の資金を経済活動に提供することで、利益の一部を受け取ることです。経済活動により、**私たちの生活がより豊かで便利**になります。